



東家印
 宛齋
 所藏
 書目
 卷之二

特別
4.4
696
211



特
14
696
211

如
是
之
序

家光公御抱槍御祈念之連歌百韻

獨吟昌琢



いづきよはたのちかやあこまのま
柳の流る水又みちのちか
山田の山はなほ花のたけさ
あはれはなほ東の川に
流るれく月影をよみ風を
あはれはなほ流るる水に
あはれはなほあはれはなほ

いづれも自れあるが如く
生れしはかたじけなく
来りてはかたじけなく
去りてはかたじけなく
いづれも自れあるが如く
生れしはかたじけなく
来りてはかたじけなく
去りてはかたじけなく

いづれも自れあるが如く
生れしはかたじけなく
来りてはかたじけなく
去りてはかたじけなく
いづれも自れあるが如く
生れしはかたじけなく
来りてはかたじけなく
去りてはかたじけなく

法のあらじきのしんごのしんごのしんご
折るものあらじきのしんごのしんご
二のあらじきのしんごのしんご



寛永六年二月

